

大船渡市防災学習館



所在地：大船渡市赤崎町字山口80-38



大船渡市防災学習館は、東日本大震災津波の記憶や教訓の伝承をはじめ、土砂災害や風水害など、災害全般に対する備えについて総合的に学習する施設です。

大船渡市防災学習館について

当館は東日本大震災時の避難所としての状況をそのまま残し、当時の臨場感を感じながら、過去の津波被害の記憶や教訓の伝承、洪水や土砂災害等の大規模災害に対する備え等を学ぶことができる施設です。



震災当時の防災学習館(漁村センター)

大船渡市防災学習館について

テーマに沿った説明パネルや防災資機材を展示

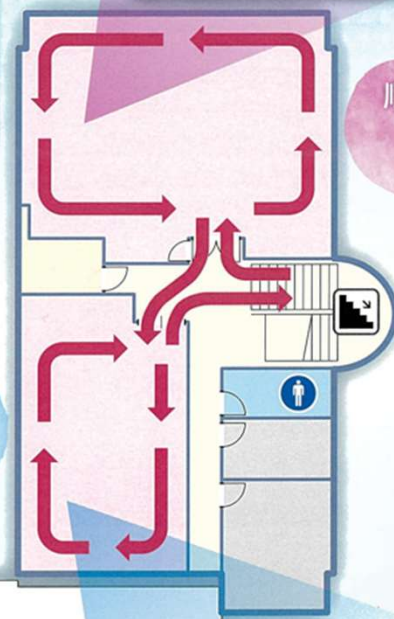
大船渡市防災学習館フロアマップ



東日本大震災津波やこれまでの津波被害の状況を紹介しています。



震災時に使用した非常食や調理機材を展示しています。



順路 1

順路 2

2F



震災時の避難所生活や支援の様子、復興のあゆみを紹介しています。



寄せられた支援や感謝のメッセージ、地域の歴史を展示しています。



風水害や土砂災害、災害への備えについて紹介しています。

施設概要

順路1: 2F 東日本大震災の被害状況を伝えるゾーン

東日本大震災の地震・津波の概要、被害状況(人的・住家被害、ライフライン被害など)、災害対応(災害対策本部の初期初動対応、消防団活動、被災しなかった地域による支援活動など)について、ジオラマやパネル等を展示して紹介。



パネル、ジオラマ、資機材の展示

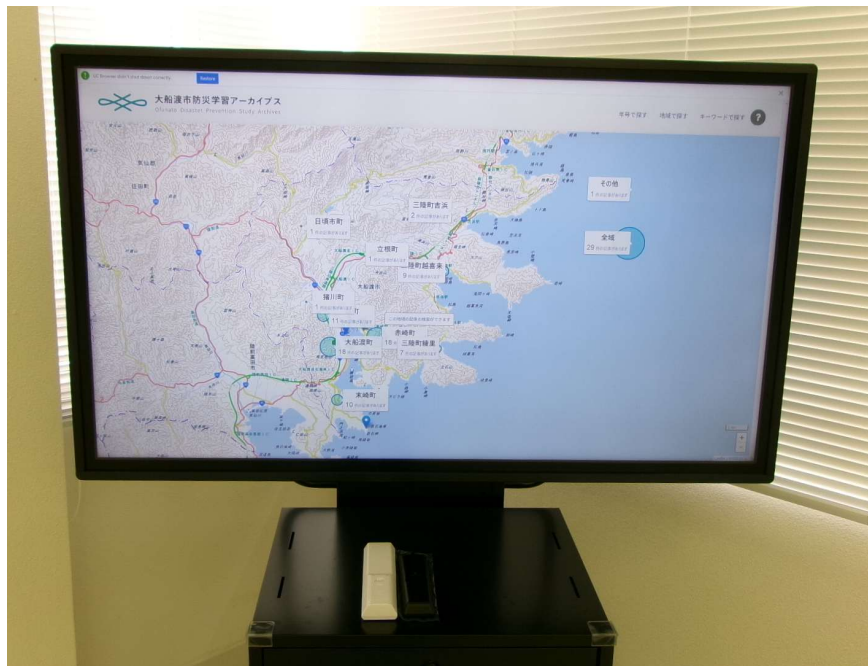
施設概要

順路1: 2F 東日本大震災の被害状況を伝えるゾーン

大船渡市防災学習アーカイブス



展示室内にデジタルサイネージを設置
大船渡市の災害の記録や伝承施設を紹介するウェブサイト



タッチパネル式で自由に操作可能



サイト画面

施設概要

順路2: 2F 避難生活ゾーン

震災当時の避難生活の様子、復旧・復興の取組(応急仮設住宅の整備、中心市街地のまちづくり、住宅の高台移転など)について、パネルと支援物資の一部を展示しながら紹介。



震災時は避難者の生活スペースとして使用



生活物資の展示

施設概要

順路3: 1F 災害に備えるゾーン

津波災害だけでなく、洪水や土砂災害などの自然災害に対する恐ろしさや、自然災害から自らの命を守るための水害時における避難行動、日頃からの災害への備えや家庭内備蓄について、パネルや災害備蓄品を展示し紹介。



土砂災害等に関するパネル展示
※今後、R7林野火災に関するパネルを追加



震災時は物資置場として使用



防災グッズの展示

施設概要

順路4: 1F 避難所体感ゾーン

震災時は調理室として利用



当時使用した非常食や調理機材を展示

順路5: 1F 支援ゾーン

寄せられた支援や感謝のメッセージ、
地域の歴史を展示



支援物資、メッセージカード等を展示

施設概要

1F 大広間

大広間は、震災当時に避難者が生活したスペースであり、当時の様子を感じることができる。

また、パーティション等の展示により、現在の避難所環境を紹介。



震災時のようす



避難所環境の改善



R7林野火災時の避難所のようす



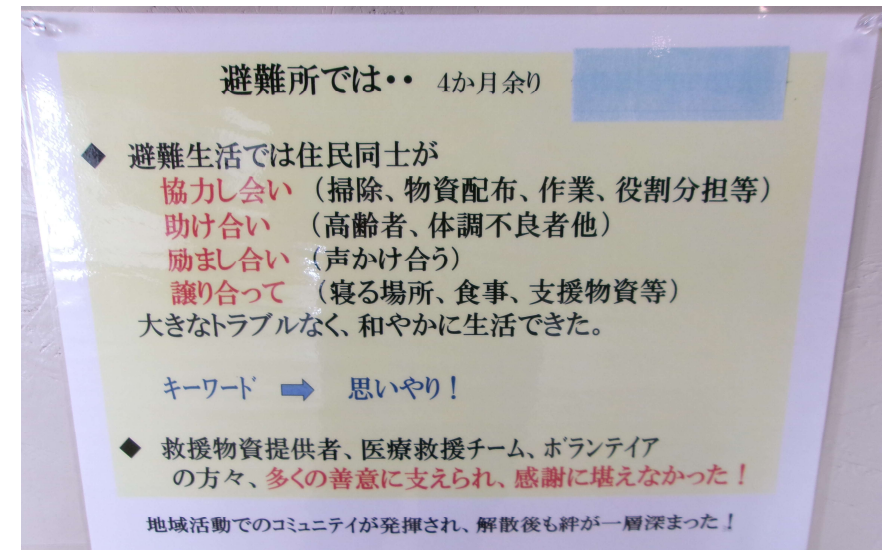
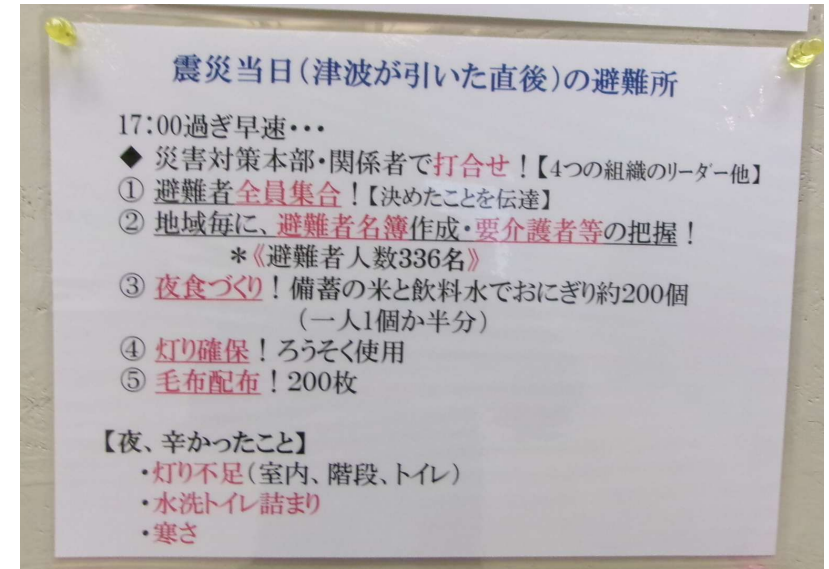
パーティションや簡易ベッドなどの
防災資機材を展示

施設概要

1F 大広間

赤崎地区の住民により作成したパネル展示

震災当時、実際に漁村センター(防災学習館)に避難し、生活した方々による、避難生活の様子や自主防災組織の活動について紹介



施設概要

館内ガイドのようす



1F大広間:過去の地震津波、東日本大震災の概要や災害対応を説明



2F東日本大震災の被害状況を伝えるゾーン:ジオラマ、パネルで東日本大震災の概要や災害対応を説明



2F避難生活ゾーン:避難所生活の様子を紹介



1F:災害に備えるゾーン
災害から命を守るための避難行動、災害への備えを紹介

主な展示・プログラム

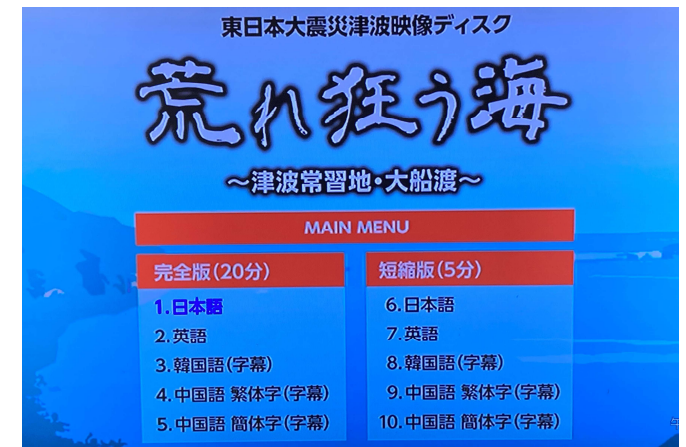
○展示

- ・各種パネルによる説明
- ・防災資機材(防災グッズ、パーテーション等)
- ・デジタルサイネージ(防災学習アーカイブス)

○館内ガイドによる案内、説明

映像資料の上映、当時の津波のようすや避難所のようすについて説明

→当時、漁村センターに避難した方がガイドを実施



参考:映像資料

○体験型の防災学習

- ・パーテーションの組立て
- ・簡易トイレ(凝固剤による水の凝固体験)



参考:パーテーション組立てのようす

学習効果

○各展示物を通して

- ・東日本大震災を知らない世代への事実や教訓の伝承
- ・地震、津波のほか、各種大規模災害に対する備えの重要性
- ・防災資機材を見て、避難生活の実態を実感

○館内ガイドによる案内、説明

- ・映像資料による、津波の恐ろしさを学ぶ
- ・ガイドの実体験を聞くことで、避難生活の苦労や重要点を学ぶ
- ・災害時における自助、共助の重要性

○体験型の防災学習

- ・パーテーションの組立や凝固剤体験による、避難生活での自主行動



震災や自然災害を「知る」+自分の「意識」「行動」に結びつく防災学習

学校・団体利用

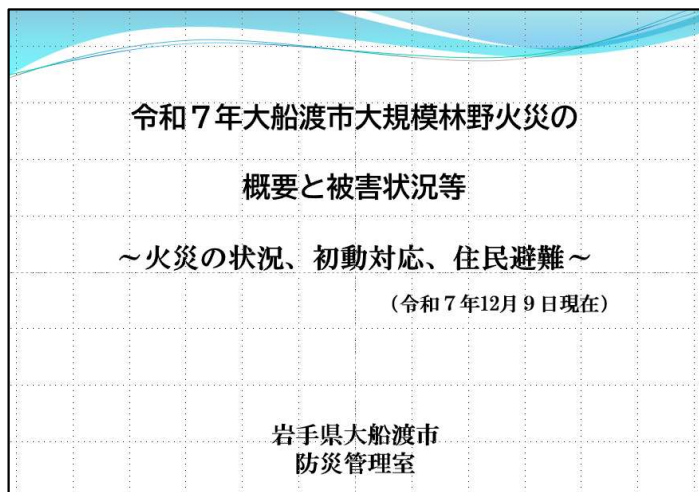
- ・ 見学のみ、ガイドによる説明＋案内、体験プログラムを利用できます。
- ・ 防災管理室職員による出前講座やR7林野火災の概要説明も可能です。
- ・ 市バス(28人乗り)の利用が可能な場合もありますのでご相談ください。



参考：出前講座



市バス



参考：林野火災概要資料

アクセス・お問い合わせ

- 見学、ガイドは事前に予約が必要です。
- 連絡先：見学、ガイドの予約（赤崎地区公民館 0192-22-9833）
出前講座、体験学習に関して（市役所防災管理室 0192-27-3111）
- 入館料・ガイド料等は無料です。
- 館内ガイドは、人数が多い場合、グループ分けし、1グループあたり10人程度の案内になります。（人数や所要時間など予約時にご相談ください）